

6 専門科目（果樹経営学科）

科目名	先進農家等留学研修	区分	専門科目	単位	5	総時間	225
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	先進的な農業を実践している農業者・農業法人の経営や技術、生活を実際に体験することにより、農業に対する取組や考え方を直接肌で感じ取り、豊かな農業観や職業観を学ぶ。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 実施計画		(1) 実施計画の作成			2週間	
	2 研修		(1) 実施計画に基づく研修の実施				
使用テキスト		無					
参考図書		無					
評価の要素		学習態度、課題提出					

科目名	経営研修	区分	専門科目	単位	2	総時間	90
学 科	全経営学科共通			学 年	1～2		
到達目標	県内外の先進的な取組や流通・販売、さらには関係機関や施設等を見学することにより農業に関する幅広い知識を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 県内研修		(1) 各学科で企画し実施			3日	
	2 県外研修		(1) 各学科で企画し実施			2日	
	【選択1】 3 企画研修		(1) 学生が企画立案し実施			3日	
	【選択2】 4 海外農業研修		(1) 海外の農業経営等を調査			7日	
使用テキスト	無						
参考図書	無						
評価の要素	学習態度、課題提出						

科目名	果樹生産概論	区分	専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	果樹経営学科			学 年	1		
到達目標	落葉果樹の成長と果実生産の基礎知識を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 生産概況		(1) 国内、県内の果樹生産と消費状況			1	
	2 種類と特徴		(1) 果樹の種類と栽培適地			2	
	3 開園と植え付け		(1) 開園準備、栽培様式、植え付け方法			3	
	4 苗木の生産		(1) 実生・栄養繁殖、繁殖方法			4	
	5 各器官の成長とはたらき		(1) 開花結実の生理			5	
			(2) 果実の肥大と成熟・追熟			6	
			(3) 枝葉の生長と花芽分化			7	
			(4) 植物ホルモンののはたらき			8	
	6 主な栽培管理		(1) 人工受粉と着果管理			9	
		(2) 収穫期の判定			10		
		(3) 整枝、せん定の基礎			11		
		(4) 土壌管理と施肥			12		
7 主な落葉果樹の品種		(1) 品種の特性			13		
8 気象災害		(1) 気象災害とその対策			14		
使用テキスト	『果樹園芸学の基礎』農山漁村文化協会、配付資料						
参考図書	『果樹園芸学』朝倉書店						
評価の要素	筆記試験、学習態度						

科目名	果樹栽培各論	区分	専門科目	単位	2	総時間	30	
学 科	果樹経営学科			学 年	1			
到達目標	本県で栽培されている主な落葉果樹の特性と栽培管理技術を習得する。							
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回		
	1 リンゴ		(1) 生育・生理・生態の特徴 (2) 栽培管理の方法			1 2		
	2 モモ		(1) 生育・生理・生態の特徴 (2) 栽培管理の方法			3 4		
	3 ナシ		(1) 生育・生理・生態の特徴 (2) 栽培管理の方法			5 6		
	4 その他の樹種		(1) 生育・生理・生態の特徴 (2) 栽培管理の方法			7 8		
	5 病虫害防除		(1) 主な果樹の病虫害と防除対策 (2) 農薬適正使用基準、防除の実際			9 10		
	6 果樹の生理障害と対策		(1) モモ、ナシの生理障害と対策 (2) リンゴとその他の果樹の生理障害と対策			11 12		
	7 GAP(農業生産工程管理)		(1) GAPの取組の意義と実践に向けて			13～14		
	使用テキスト	『果樹園芸学の基礎』農山漁村文化協会、配付資料						
	参考図書	『果樹園芸学』朝倉書店						
評価の要素	筆記試験、学習態度							

科目名	果樹経営各論	区分	専門科目	単位	2	総時間	30	
学 科	果樹経営学科			学 年	2			
到達目標	果樹経営を行ううえで必要な実践的な知識を習得する。							
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回		
	1 果樹の省力化・軽労化技術	(1) リンゴ、ナシの省力化・軽労化技術			1			
		(2) ブドウの省力化・軽労化技術			2			
		2 果実の販売・流通と利用	(1) 品質管理と果実の貯蔵法			3		
			(2) マーケティング			4		
			(3) JAS法、トレーサビリティについて			5		
(4) 果実の機能性と加工品			6					
3 果樹栽培におけるGAP	(1) GAP総論			7				
	(2) 実践事例の分析			8				
	(3) 本県における推進方策 (放射性物質対策)			9				
4 果樹における経営分析	(1) 優良経営事例の研究			10				
	(2) 栽培計画の作成			11～13				
	(3) 卒論に関する収支内訳書の作成			14				
使用テキスト	『果樹園芸学の基礎』農山漁村文化協会、配付資料							
参考図書	『新版 図集果樹栽培の基礎知識』							
評価の要素	筆記試験、学習態度、課題提出							

科目名	食品製造演習	区分	専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	野菜・果樹経営学科共通			学 年	1		
到達目標	本校及び県内で生産される園芸品目を主とした加工を行い、農産加工に関する基礎技術や付加価値化の技術を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 野菜の加工		(1) トマトの加工 JAS規格トマト加工品と保存性			1～2	
	2 果実の加工		(2) 漬物加工 JAS規格農産物漬物と漬物の漬かる原理			3～4	
	3 穀類の加工		(1) モモの加工 一次加工した素材を利用した加工の展開			5～6	
			(2) リンゴの加工 JAS規格ジャム類とゼリー化の原理			7～8	
			(1) 小麦粉の加工 小麦粉の種類と特性(グルテン)			9～10	
			(2) 小麦粉・米粉の加工 米粉の種類と特性、小麦粉との違い			11～12	
			(3) 大豆の加工 豆腐の種類と凝固の原理			13～14	
使用テキスト	無						
参考図書	配付資料						
評価の要素	課題提出、学習態度、出席						